

Access

鉄道利用の場合



- 米子駅から
 - ・徒歩で約15分
 - ・タクシーで約3分
 - ・米子市循環バス利用で約8分
- ※米子駅から大学前までは日の丸バス利用で約4分

- 米子鬼太郎空港から
 - ・タクシーで約20分
 - ・連絡バス利用で約25分

高速バス利用の場合



鳥取大学医学部

医学科 | 生命科学科 | 保健学科 看護学専攻/検査技術科学専攻

[お問い合わせ窓口] 学務課教育企画係
〒683-8503 鳥取県米子市西町86 TEL:0859-38-7096

航空機利用の場合



鳥取大学医学部



入試情報はこちら

鳥取大学医学部 2027

TOTTORI UNIVERSITY Faculty of Medicine

可能性は、問いから始まる。



さあ、君の？を実現しよう!

米子キャンパスで
待ってるよ!



© 青山剛昌

君の？で、 日本の未来を 創りたい。

なぜだろう？

どうすればいいのだろう？

君が抱くその小さな問いは、

まだ誰も気づいていない

医学の可能性を広げるかもしれない。

最先端の知を追究し、医療の現場で命に向き合う。

ここでの学びが、やがて日本の未来を動かし、

誰かの命を救う光になる。

たかはし まい
高橋 真衣

生命科学科 4年 出身:愛媛県

目指す将来像

神経変性疾患の発症機序を解明し、
未だ存在しない治療薬を患者さんに届ける研究者。

今抱えている医学への問い

患者さんの細胞内で起こる現象を再現できる
疾患モデルを作りたい。

高校生へのメッセージ

自分の軸を見つけ、その軸を磨くために、
さまざまなことに挑戦し日々経験を積んでください。



医学を学ぶ、その先へ。

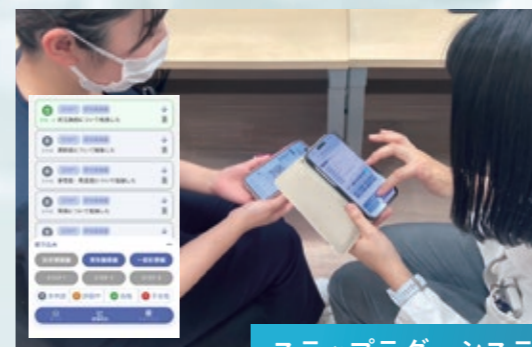
どんな未来を創るだろう？

医学科

人と知が交わる場所で
地域と未来を支える医師を育てます。

鳥取大学医学部では、一人ひとりの成長を支える、ここにしかない学びを実践しています。
先進的な教育と多彩な学修環境を通して、人に寄り添う心と探究心、協働する力を育みます。
地域から世界へ、未来の医療を支える医師・研究者を育成します。

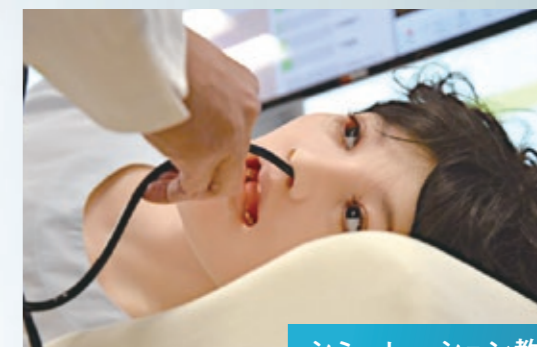
スキルの可視化でやる気アップ



ステップラダーシステム

達成目標の階段(ステップラダー)を独自アプリで指導医と登る。成長を実感できます。

独自開発のロボットで医療を体験



シミュレーション教育

痛みや嘔吐など人と同じ反応をする、医療ロボ「mikoto」。臨場感あるシミュレーションで、確かな技術を身につけます。

地域と世界がキャンパスになる



DoGeNaプロジェクト

鳥取の方言「どげな？」の問いから始まる学びのプロジェクト。地域、そして世界へ、教室を飛びだそう。

子どもたちの未来を拓く



国内初の小児神経疾患専門診療科

脳神経小児科では、最先端医療の提供と新しい治療法・医療技術開発、子どもと家族に寄り添う医師を育成しています。

にしむら ゆうき
西村 優希

医学科 5年 出身: 島根県

目指す将来像

患者さんに寄り添い、地域の健康を支える医師。

今抱えている医学への問い

患者さん一人ひとりに合った医療を提供するには。

高校生へのメッセージ

医学部では毎日新しい学びや発見があります。
少しでも興味があれば、その気持ちを大切にしてください。



「なぜ？」を追いかけ、未来を拓く。

どんな可能性に挑むだろう？

生命科学科

命の神秘に挑み、医学と生命科学の知を磨く。
研究と医療の架け橋となる人材を育てます。

1990年に全国に先駆けて医学部に設置された本学科では、
医学の知識を基盤に、生命現象の謎に挑む研究者を育成します。
基礎研究から先端医療への橋渡しを担い、未来の医療と科学を切り拓く力を養います。

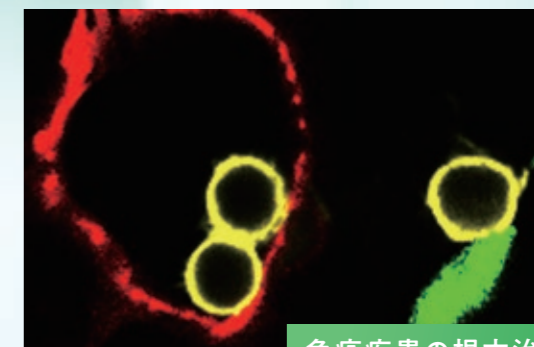
染色体工学で未来の医療をデザイン



ゲノムデザインと創薬

染色体工学によるゲノムデザインで、難病の病態解明や新しい治療法・創薬の実現に挑み、未来の医療を創造します。

免疫疾患の完治に向けて



免疫疾患の根本治療

自己免疫疾患やアレルギー疾患の病因である免疫記憶を制御することで、それら疾患の完治につなげています。

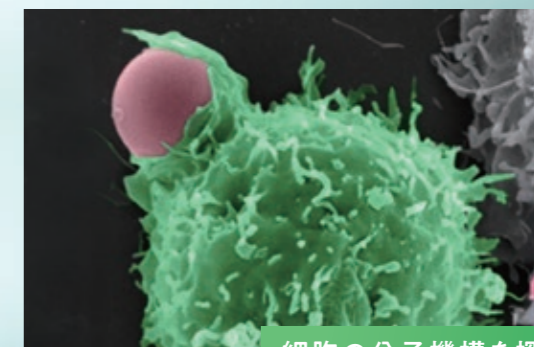
遺伝性の脳難病に挑む



低分子薬を用いた研究開発

神経細胞内の病態に選択的に作用し、疾患の進行を抑制する飲み薬の開発・応用をめざしています。

細胞のしくみから病気を理解する



細胞の分子機構を探る

細胞の動きをミクロな視点で観察し、病原体を取り込んで体を守る「生体防御のしくみ」を分子の言葉で解き明かします。

かきうち こうき 垣内 昂樹

生命科学科 4年 出身:兵庫県

目指す将来像

がん研究を通して新たな治療法の基盤を築き、一人でも多くの患者さんに希望を届ける研究者。

今抱えている医学への問い

がん細胞の浸潤や転移に関わる遺伝子の働きを分子レベルで解明し、病気の克服へ繋げるアプローチとは。

高校生へのメッセージ

「まだ誰も答えを知らない問い」に挑むという楽しさを、ぜひここで体感してください。

誰かの希望を支えたい。

どんな自分になれるだろう？

保健学科

看護学専攻
検査技術科学専攻

看護学専攻
HPはこちら



検査技術科学専攻
HPはこちら



「寄り添う心」と「探究心」を備えた 信頼されるプロフェSSIONALを育てます。

保健学科では、人に寄り添う心と、科学の眼で真実を捉える探究心を育みます。

確かな知識と技術を磨き、多職種と協働しながら、人々の健康と社会に貢献する医療人を目指します。

地域そして世界へ、多様なフィールドで活躍する力を養います。

仁木 心音

保健学科看護学専攻 3年 出身:岡山県

高校生へのメッセージ

看護は対象者を知るだけでなく自分自身を知り、成長し続けられる学びだと考えています。自分の興味を大切に挑戦していきましょう。

1年次から本物の医療とケアの心を学ぶ



看護学
専攻

附属病院看護師による
技術教育

1年生から医療現場で学ぶ実習が始まり、大学内の授業でも病院で活躍する看護師からリアルな技術を学んでいきます。

多様な人々への支援を学ぶ



看護学
専攻

住民との交流を通して地域をみる

住民と共に活動することで、住民の生活を知り、健康を支援できる医療者を育成します。

臨床現場でリアルを学ぶ



検査技術
科学専攻

検体採取実習

附属病院での臨地実習を通じ、患者さんに寄り添える、高度な臨床力を持つ検査技師を育成します。

科学で睡眠をデザイン



検査技術
科学専攻

睡眠医療

睡眠を“見える化”し科学的に解析。検査データで健康を支える力を学び、予防医療にも貢献する検査技師を育成します。

チヨン ミシェル 恵瑛

保健学科検査技術科学専攻 4年 出身:大阪府

高校生へのメッセージ

学ぶ前と後では、物事の見え方や捉え方は大きく変わります。興味を持ったことには、ぜひ一歩踏み出してみてください。

医学科

命を救う瞬間をともに



うえだ たかひろ
上田 敬博 教授
医学部附属病院救急科
高度救命救急センター
命の最前線で判断し行動する力を育て、未来の自分が人を救う瞬間を実現できる学びがここにある。



君と創る「がんを溶かすウイルス」



なかむら たかふみ
中村 貴史 教授
医学科ゲノム再生医学講座
ゲノム医療学分野
「がんを溶かすウイルス」を創る。君の探究心が、次世代のがん治療を切り拓く。絶望を希望に変える医学の未来を、共に描こう。

身体から探る
こころの病

いわた まさあき
岩田 正明 教授
医学科脳神経医学講座
精神行動医学分野
こころの病の原因を、脳の炎症や免疫の働きから解き明かし、新しい治療につなげる研究に取り組んでいます。

女性の一生に寄り添う専門職



すずき やすえ
鈴木 康江 教授
保健学科看護学専攻
母性・小児家族看護学講座
母子と家族に寄り添い、女性の一生を支える専門職・助産師です。次世代の健康と笑顔を、地域・臨床・研究・教育で繋ぎます。



みやもと
宮本 まゆみ 教授
保健学科看護学専攻
基礎看護学講座
看護は実践の科学。エコーで体の声をキャッチし、よりよい看護の提供を目指します。新しい看護の姿を、一緒に切り拓きませんか。

看護の形はひとつじゃない



まつら はるよ
松浦 治代 教授
保健学科看護学専攻
地域・精神看護学講座
地域で看護する、地域を看護する？すべての人がより健康に暮らせるように生涯に寄り添い切れ目のない支援を目指します。

各教員のキャッチコピーは
学生広報スタッフが考えました

地域を見る、人生を支える

研究の現在地

それぞれの専門から「いのち」に向き合う研究の一端を紹介。

研究室一覧はこちら▶



ゲノムデザインで導く未来の医療



かづき やすひろ
香月 康宏 教授
生命科学科
染色体工学講座
染色体工学でゲノムを自在にデザインし、難病治療、新しい薬作りに挑む。ゲノムデザインで、ともに未来の医療を創ろう。



脳へ届ける、未来の治療

ひがき かつみ
檜垣 克美 教授
生命科学科
機能形態学講座神経科学分野
小児神経難病の脳に効く飲み薬をめざして、神経細胞内で標的蛋白質の構造を安定化するシャペロン薬の開発を進めています。

よしむら たけし
吉村 武 教授
保健学科検査技術科学専攻
生体制御学講座
子どもの脳と心の発達に関わるメカニズムの解明を目指します。神経発達症(発達障がい)の課題解決に挑みます。

研究の力で、子どもたちを支える



かとう まさひこ
加藤 雅彦 教授
保健学科検査技術科学専攻
病態検査学講座
「すぐ眠い」「ぜんぜん眠れない」の原因を多角的な検査データで読み解き、生活習慣病の診断・治療につなげる研究室です。

眠れなくなるほど
面白い睡眠の悩み

とこよだ こうじ
常世田 好司 教授
生命科学科
分子細胞生物学講座免疫学分野
アレルギー疾患や自己免疫疾患のように、病気を記憶してしまう免疫系の仕組みを皆さんと明らかにし、疾患を完治させましょう。



免疫は諸刃の剣

発明を生み出す
4つのスキルがあります。
多様な連携で発明文化を広げ
人を育て、未来を創ります。



鳥大医学部の
発明王
うえき まさる
植木 賢 教授

君も発明で未来を創ろう!

Gaglessマウスピース
内視鏡のオェツという反射を軽減

mikoto
大腸内視鏡モデル
手技を定量評価できる次世代医療シミュレータ

発明祭



いわた ひろあき
岩田 浩明 教授
保健学科検査技術科学専攻
生体制御学講座
AIで検査データを読み解き、病気のサインを見つける力を学ぼう。未来の医療をつくる探究心を育てよう。

AI×医療、その先の可能性へ

看護学専攻

検査技術科学専攻

体育系 サークル



卓球部

未経験者から中高での経験者まで幅広く在籍し、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく活動しています。

弓道部

週3回の練習のほか大会やイベントも充実。多くの初心者が早期から活躍し、互いに切磋琢磨しています。

女子バレー部

初心者が約半数を占める中、学年や学科、経験を問わず全員が真剣にプレーし、着実な成長を目指します。

バドミントン部

部員61名が所属。大会に向けた練習に加え、多彩なイベントを通じた部員同士の深い交流で個性を磨いています。

水泳部

初心者から西医体入賞者まで幅広いレベルの部員が在籍し、互いに切磋琢磨しながら記録向上を目指します。



キャンパスライフをもっと楽しく!

サークル

好きなことに夢中になれる仲間がいる。

紹介

CLUB ACTIVITIES

学びも遊びも、全力で楽しむあなたを待っています!

文化系 サークル

熱帯医学研究会

フィリピンでの感染症予防啓発活動や身近な寄生虫の観察・調査を通じて、熱帯医学を実践的に学んでいます。



地域医療研究部

「ちいけん」の略称で親しまれ、教科書だけでは学べない実践的な地域医療について楽しく学んでいます。



Peer in heart

中高生に寄り添う仲間(Peer)として、生(性)や将来のテーマについて一緒に考え話し合う活動を行っています。



しゅわっち

ゲームや^{あそび}者との交流で手話を学ぶほか、医療手話単語の勉強、手話検定や手話歌への挑戦も行っています。



国際保健友の会 ハクナマタタ

国際保健や地域医療を学びながら、年1回の海外研修や地域住民との交流など、国内外で貴重な活動を展開しています。



大山家族

1型糖尿病を抱える子どもたちの成長や仲間作りを支えるため、キャンプや病気の学習などを企画・運営しています。

いましかできないことに、全力で。

50を超える、個性豊かなサークル! ▶▶▶



Campus

自分らしく、学びと

Life!!

遊びを全力で!

A Day in the Life

勉強も、部活動も、友達との時間も、リアルな学生生活の1日を

全てかけがえのない毎日。のぞいてみよう!

医学科

3年生

すぎ かず しげ
杉 和 繁

出身：岡山県

生命科学科

3年生

いの うえ とも ね
井上 朋音

出身：兵庫県

8:35 歩いて登校



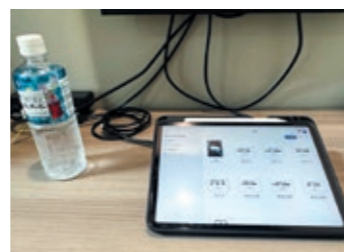
家が近いのでゆっくり準備ができました。今日もスッキリ!

13:00 授業に集中!



お昼ご飯を食べたら午後の授業。眠たいですが集中して講義を受けます。

16:30 図書館で自習を



授業後は部活の時間まで図書館で勉強。復習も予習も頑張ります!

5:30 朝のカフェバイト



朝働いて、放課後に自由時間を確保!写真はまかないの朝ごはんです。

8:40 講義を真剣に聞く



午前は90分2コマ。午後からの実習に直結する内容も多く、みんな真剣。

12:00 講義室でそのまま昼食



そのまま講義室で友達とランチ!節約のために家でお弁当を作って持参する人が多いです。



18:00 部活動でリフレッシュ!



放課後は部活!男子バレー部です。この写真は大会の様子です。

22:00 寝る前のヨガ



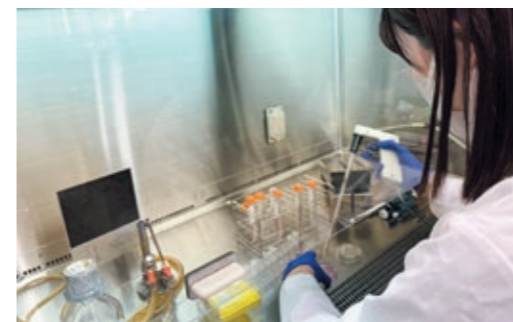
1日の終わりはヨガで、これを行うことでぐっすりと眠れます。

自分時間の過ごし方

趣味は釣り。大物を狙って釣りをしています!



13:00 実習で手技を習得!



3年生からは実習が本格始動。今後の研究の土台となる、重要な手技や考え方を身に付けていきます。

17:20 部活で気分転換



陸上部の活動でリフレッシュ。様々な人と交流し、視野を広げられます。

自分時間の過ごし方

休日は友達とサイクリング。目的地まで、1日で100kmほど走ることも!



ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金
1限	病理学各論	医科栄養学	病理学各論	医科栄養学	病理学各論
2限		応用英語 I		疫学と予防医学	
3限	臨床消化器学	治療学	治療学	病理学各論	放射線診断学
4限					

ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金
1限	神経科学セミナー	遺伝子制御学	内科学概論	特別講義	心の病
2限		実習		人類遺伝学	細胞工学セミナー
3限	実習		実習	実習	外科学概論
4限		老年医学			



保健学科
看護学専攻

4年生
なかぐち りさ
中口 理沙

出身：鳥取県



保健学科
検査技術科学専攻

4年生
チョン ミシェル恵瑛

出身：大阪府

8:40 学内学習



実習メンバーで、病院実習のま
とめに行う発表の準備に集中!

12:00 お弁当タイム



手作りのお弁当!そのまま講義
室で食べることが多いです。

5:30 部活動の朝練



馬術部の朝練で大山の麓に行
き、馬に乗ってリフレッシュ!

9:00 病院実習



病院実習ではさまざまな部門を
回り、実際の仕事を学びます。



17:30 実習の練習



分娩介助などの練習と実技試
験を終えたら、ドキドキの本番。

自分時間の
過ごし方

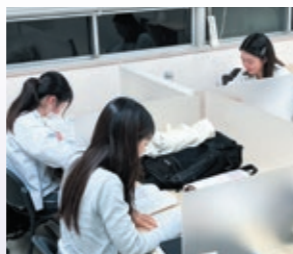
実習後や休日は、友
達とご飯へ!家で餃
子パーティーを開い
たことも。



ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金
1限			助産診断 技術学II		
2限	看護学 研究法II			臨地実習	臨地実習
3限		助産診断・ 技術学II			
4限					

17:30 班員と自習



班のみんなと、翌日の実習に向
けて予習や確認を行います。

自分時間の
過ごし方

馬術部で、馬と過
す時間に癒されま
す。長期休暇には大
会にも参加!



ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金
1限					
2限	血液診断学	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習
3限	課題研究				
4限					

地域と世界を見据えた
未来の医療を拓く
人材育成



鳥取大学医学部長

ながしま ひで き
永島 英樹

みなさんは、自分の将来についてどんな
夢を描いていますか?

医学部進学を考えているみなさんです
から、医師や看護師といった医療職。
生命の根源を探ったり、病気を治す薬
を開発したりする研究者でしょうか。
それ以外にもWHOや厚生労働省で医
療行政に取り組んでいる卒業生や、医
療機関のコンサルタントをしている人も
います。なんとスタートアップを起業して
成功している先輩もいるんですよ!

みなさんのさまざまな夢がかなえられる
ように、僕たち教職員がサポートします。

History

沿革

1945 (昭和20年)

米子医専 設置



1946

(昭和21年)

全国の医専で
初の男女共学制
を実施



1948 (昭和23年)

米子医専から米子医大へ



1949 (昭和24年)

鳥取大学 設立

1951 (昭和26年)

鳥取大学医学部 発足

1990 (平成2年)

ステロイド医学研究施設から
生命科学科へ発展

1999 (平成11年)

鳥取大学医療技術短期大学部
から保健学科へ

2025 (令和7年)

創立80周年

附属病院

活躍する卒業生

とりだい病院で挑む 君の創造する未来は何だ？

とりだい病院とは

医学部の附属病院であり、入院病床697床、一日平均約1,500名の外来患者が通院する鳥取県唯一の特定機能病院です。山陰の医療における最後の砦となっています。

3機種4台の手術支援ロボット



da Vinci、hinotori、Hugo を有し、低侵襲治療にも力を入れ、トップクラスの実績とハードが整備されています。

地域の命を守る高度救命救急医療



山陰の救急医療の最後の砦として、ドクターヘリや高度救命救急センターを中心に、24時間体制で重症患者の命を支えています。

診療科の垣根を越えた「低侵襲外科センター」で安全・安心な先進医療を提供するとともに、2024年に設立した「鳥取大学ロボット手術研修・医療機器イノベーションセンター (ToRSC)」では、機器開発や人材育成を通じて高度医療を支える人材・機器・手技を創出しています。

附属病院
HPはこちら



2021年度 / 医学科 卒業

循環器内科
よしだ なおと
吉田 直人



出身：兵庫県

■ 目指す医師像

医学的根拠と患者さんの価値観の両方を尊重し、その人にとって最善の医療を追究できる医師。

■ 今抱えている医学への問い

予防から最先端治療までを通して、いかに健康寿命を延伸するか。

■ 高校生へのメッセージ

私は兵庫県出身ですが、鳥取で多くの方に支えられ、医師として成長してきました。出身地にとらわれず、自分が成長できる場所を選んでください。

2015年度 / 医学科 卒業

泌尿器科
おおまつ るみこ
大松 留美子



出身：岡山県

■ 目指す医師像

患者さん、患者さんの家族、自分の家族を大切に。

■ 今抱えている医学への問い

超高齢化社会の中で求められる日本の医療とは。

■ 高校生へのメッセージ

自分自身の可能性を信じて、様々なことに挑戦し、学んでください。

2013年度 / 医学科 卒業

心臓血管外科
くまがい くに たか
熊谷 国孝



出身：広島県

■ 目指す医師像

多くの治療選択肢を持ち、その中から患者さん一人ひとりにとって最善の治療を提供できる医師。

■ 今抱えている医学への問い

患者さんとそのご家族にとって最善の人生とは何かを考え、どこまで手術による介入を行うべきかを日々模索しています。

■ 高校生へのメッセージ

自分が興味を持てることを見つけ、その気持ちを大切にしてください。夢に向かって挑戦する経験は、将来の力になります。

2020年度 / 医学科 卒業

女性診療科
ひらつか ゆき
平塚 由貴



出身：福岡県

■ 目指す医師像

女性の一生を医療の立場から支え、安心と信頼のためにスキルアップし続けられる医師。

■ 今抱えている医学への問い

より低侵襲に、副作用や合併症を少なくがんの治療を行うために必要な知識や技術は何か。

■ 高校生へのメッセージ

人生一度きり! やりたいことを思う存分楽しんでください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています!

2018年度 / 保健学科 看護学専攻 卒業

看護師
いわもと ゆい
岩本 優衣



出身：鳥取県

■ 目指す看護師像

患者さん一人ひとりのその人らしさを大切にし、前向きに治療にのぞめるよう、身体的・精神的・社会的な面から支える看護師。

■ 今抱えている医学への問い

患者さんにとってのよりよい医療とは、病気だけでなく、その人らしさを大切にする看護とは。

■ 高校生へのメッセージ

失敗や困難があっても、夢に向かってひたむきに努力することが、きっと大きな力になります。応援しています!

2024年度 / 保健学科 検査技術科学専攻 卒業

臨床検査技師
ながしま もえ
永島 萌



出身：大阪府

■ 目指す臨床検査技師像

患者さんにも、他の医療従事者にも信頼される臨床検査技師。

■ 今抱えている医学への問い

AIを利用した検査の正確性は今後どうなっていくのか。

■ 高校生へのメッセージ

少しでも興味があれば、失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦してみてください。